

日本リハビリテーション工学協会コミュニケーション SIG 講習会 2010 夏・仙台  
**本当に必要なコミュニケーション支援とは**  
 ～ 正しく，安全に，安心して使い続けるためには ～

意思表出などのコミュニケーション支援において，利用者の身体状況に応じた装置の選定，調整等は大切で，「安心」して使い続けられるように段階的かつ，継続的な支援が求められます。一方でコミュニケーション支援の安定供給のためには，支援者の「安心」への配慮も大切です。

今回の講習会では，「リスクと契約責任」，「操作スイッチの特性の理解」，「利用者視点でのニーズの汲み上げ」を通して，正しく，安全・安心に使い続けるためのコミュニケーション支援について解説します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時：平成 22 年 8 月 29 日(日) 午前 9:15～午後 12:30 (受付は 9:00～)

場所：仙台青葉カルチャーセンター 403 号室 ※会場案内は裏面参照

主催：日本リハビリテーション工学協会コミュニケーション SIG

参加費：¥1,000(リハ工学協会員、コミュニケーション SIG 会員は¥500)

定員：20 名(先着順)

プログラム：

AM9:20 ～10:50	<b>講義：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全，安心に使うために 「コミュニケーション支援のリスクマネジメント」</li> <li>・ 正しく使うために 「スイッチ利用時の誤操作，誤動作を減らすための工夫」</li> <li>・ 利用者視点でのニーズ 「使い続けるために必要な支援」</li> </ul> さまざまな視点から支援者に求められるスキルや心構え等について，お伝えします。
AM10:50 ～ 11:00	休憩
AM11:00 ～ PM12:20	<b>演習：実際の支援から学ぶ(事例検討)</b> 上記 3 つのテーマをふまえてのロールプレイ(グループワーク)
PM12:20 ～12:30	まとめ，コミュニケーション支援に関する情報交換

※以下のプログラムは希望者のみです(定員：5 名)

PM1:15 ～2:45	<b>演習：「スイッチ利用時の誤操作，誤動作を減らすための工夫」</b> 実際に各種スイッチや信号制御インタフェースを用いて，理解を深めます。 ※午前中の講義に関する演習です。
-----------------	---

日本リハビリテーション工学協会コミュニケーションSIG 講習会 2010 夏・仙台  
8月29日(日)COMSIG 講習会申込書・会場のご案内

参加申込の方法：必要事項をご記入の上、電子メールまたはFAXにてお申し込みください。

申込・問合せ先：リハ工学協会コミュニケーションSIG事務局（担当：畠中）

横浜市金沢区泥亀1-21-5 横浜市泥亀福祉機器支援センター内

TEL(045)782-2988 FAX：(045)782-2996 メール：kosyu-sendai@comsig.jp

コミュニケーションSIG ホームページ(<http://www.comsig.jp>) もご覧ください。

お名前(ふりがな)： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) 申込日： \_\_\_\_\_ 年 月 日

ご所属 \_\_\_\_\_ 職種： \_\_\_\_\_

ご住所：〒 \_\_\_\_\_

お電話：( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ FAX：( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_

参加区分：COMSIG会員・リハ工学協会会員・その他 \_\_\_\_\_ (該当する区分に○)

午後の演習への参加：希望する・希望しない (どちらかに○をつけてください)

講習会への参加動機やご希望など： \_\_\_\_\_

※ご提供いただく個人情報は主催者のみが取り扱い、当講習会の運営、今後の主催行事のご案内のみ使用いたします。

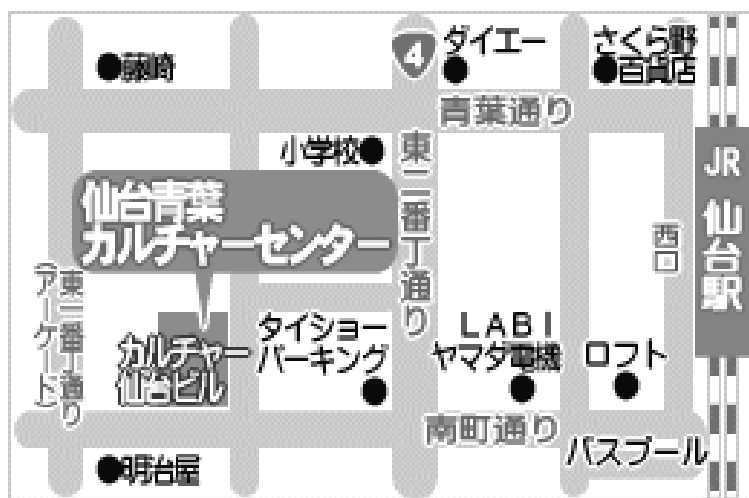
\*\*\*\*\*

会場：仙台青葉カルチャーセンター 403号室

所在地 宮城県仙台市青葉区一番町2-3・10 カルチャー仙台ビル

TEL：022-225-2698 (代)

<http://www.culture.gr.jp/sendai/index.htm>



交通案内 <公共交通機関をご利用ください。>

JR仙台駅から：JR仙台駅西口より徒歩7分(南町通沿いです)